

育てたい子ども像
 約束や決まりを守る大切さを知り、自他を大切にしようとする子ども

発達段階	育てたい子ども像	主題名・教材名 学習活動	考える道徳、議論する道徳に向けた工夫	
			発問例	評価
小学校	約束やきまりを守り、みんなが使う物を大切に する子ども	きまりをまもって「どうしてこうなるのかな」 学校の中の困ったようすを考えるを通して、きまりや約束の大切さに気付く。	きまりや約束を守らないとどうなるでしょう。	自己中心的な行動はみんなを困らせる行為であることに気づき、きまりや約束を守る大切さに気付くことができました。
		みんなが使う物「きいろい ベンチ」 登場人物の気持ちになって、みんなが使う物を大切に使うことについて考える。	女の子の服を汚してしまったことに気が付いたとき、二人はどんなことを考えたでしょうか。	女の子の服を汚してしまったときの二人の気持ちを考えることを通して約束やきまりについて考え、みんなが使うものを大切に扱うことが必要であると理解することができました。
		みんながつかうばしょでは「みんながつかうばしょだから」 注意をされても校庭でボールをけってしまった登場人物の気持ちを考えるを通して、みんなが使う場所でのきまりや約束について考え、話し合う。	めぐみさんの言葉を思い出したしんじくんはどんなことを考えていたでしょうか。	登場人物の気持ちを考えることを通して、みんなが使う場所での約束やきまりを守ることの大切さを理解することができました。
		きまりをまもって「どんなきまりがあるかな」 挿絵にある周囲の人の表情に着目して考えることを通して、きまりを守らなければならない理由について考える。	きまりを守らないとどんなことが起こると思いますか。	周りの人の視点に立って考えることを通して、きまりがある理由やきまりを守らなければならない理由について理解することができました。
		きまりの意味「きまりのない国」 きまりがない国に行ったときの主人公の考えを通して、きまりがあることのよさに気づき、きまりを守ろうとする。	きまりのない国に行き、けんたはどんなことを思いましたか。	約束やきまりを守ることの大切さに気づき、きまりがあることのよさやきまりを守ることの重要性に気付くことができました。
		やくそくを守って「かるた遊び」 かるた遊びの約束を考える千歌のクラスの様子を通して、きまりの大切さを考えさせる。	約束を守ることは、どうして大切なのだと思いますか。	これまでに約束やきまりを守ってきたかを振り返り、きまりの大切さについて改めて考えることができました。
	約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守る子ども	みんなの場所で「このままにしていたら」 「ぼく」の行動と気持ちを通して、規則の尊重について考えさせる。	飛んでいったビニール袋を拾いに行かなかったのをどう思いますか。	規則やルールを守れなかったことがないかを振り返り、何のために規則があるのか考え、理解を深めることができました。
		きまりは何のために「雨のバス停留所で」 並んでいた人を抜かして、バスに乗ろうとしたよし子は後にどのようなことを考えたのかを話し合う。	よし子は自分のしたことについてどのようなことを考え始めたのでしょうか。	周囲の人のことを考えずに自分勝手になってしまったことはないか振り返り、きまりを守ることによって自分だけでなく、周囲の人も気持ちよく生活できることに気づかせることができました。
		自分の役割を果たす「わたしは飼育委員」 委員会活動の役割について、自分の役割が学級や学校をどう支えているのかを話し合う。	加菜は、なぜ自分だけ損をしたと思ったのでしょうか。	これまでに集団における役割を果たしてきたかを振り返り、仕事をすることが学級や学校をどう支えているのか、考えを広げることができました。
		よりよいきまりとは「公園のきまりを作ろう」 公園のきまりについて考え、公共の場を気持ちよく使うためのマナーや約束を話し合う。	この公園の入り口の看板にきまりを書くとしたら、どのように書きますか。	きまりについてこれまでを振り返り、意義を考え、どう向き合っていくのがよいか、自分のこれから考えることができました。
		自分の判断で「マイルール」 電車やバスでのマナーやきまりについて確認し、それらを守るため自分が正しいと判断したマイルールについて話し合う。	すっかり埋まった座席を眺めながらため息をついたとき、私が考えたことはどんなことですか。	マイルールを作ることにより生活がどう変わるかを考えることにより、もの見方を広げ正しいと信じることを実行しようとする意欲を育てることができました。
		自分の役割を果たす「子ども会のキャンプ」 班長としての役割について考え、その役割を果たすためにどんな考えが大切かを話し合う。	このキャンプは、なぜ明菜の心に残る思い出になったのでしょうか。	班長などの役割について考え、友達の見方や考え方を考えることにより、さらに自分の考えを広げることができました。
中学校	法やきまりの意義を理解した上で進んでそれらを守り、自他の権利を大切に し、義務を果たす子ども	「どうしよう、おれ」 友達が万引きしたものを自分がもっている状況で、今後どうしたら良いのか、友達としてどう接していくのか話し合う。	万引きした友達にこのあと声をかけるとしたら、どのような声をかけるべきか。	自分のことだけでなく、友達のことにも目を向け、自分で正しく判断することの大切さを学ぶことができた。
		「一粒のアメ」 誰も見ていなければ、校則はやぶつてもいいのか、複雑な気持ちも交えて話し合う。	周りがみんなアメを食べたいと言っていたら、あなたはどうしますか。食べるか食べないかの二択で考えましょう。	葛藤してしまう自分の心に素直に向き合い、今後自分はどうかあるべきか、真剣に考えることができた。
		「守りたいものは」 少しでも誰かが自分の要求を通せば町全体が混乱してしまう中、どうすればいいのか話し合う。	自分だったら、生理食塩液を渡すか、それとも渡さないか。規則を守るとはどういうことなのか。	規則を守ることは大切だと分りながらも、友達「規則を守ることより何を大事にするかが基準である」という言葉を否定せず、どういふことか解説を求め姿勢が素直になった。様々な意見が出る中、自分の考えを最後にまとめられた。
	法やきまりの意義を理解し、それらを進んで守るとともに、そのよりよい在り方について考え、自他の権利を大切に し、義務を果たして、規律ある安定した社会の実現に努める子ども	「賞状」 最優秀賞をもらえたことと、集合時刻には間に合わなかったことをどう思うか話し合う。	深めることを大事にするか、時間を守ることを大事にするか。	何が良い選択なのか迷いながら、場面や状況に応じて変えていくべきだという意見を自分の中で構築していったことが良かった。
		「フリーガン」 暴動になる可能性が高い中、今後、チームの大会参加をどうすればいいか話し合う。	自分が監督なら、大会への参加を見送るか。それとも参加するか。	一体、誰が悪かったのか、本当に選手が辞退すべきなのか、真剣に考える中で、常に他への思いやりが判断基準になっていることに気づき、決まりを守ることは他への思いやりであることなのだと思ふ答えを導き出すことができた。